

平成30年度前橋市春季ソフトボール大会開催要項

1. 主 催

前橋市ソフトボール協会

2. 日 時

平成30年4月8日から5月6日の各日曜日

3. 会 場

前橋市桃の木川グラウンド（東片貝町417-4）

4. 競技規則

（公財）日本ソフトボール協会制定の「2018年度オフィシャルソフトボールルール」を準用する。

予選リーグ戦、決勝トーナメント・リーグ戦を行う。

5. 種 別

一般男子（1部・2部）、一般女子・男子シニア・その他で、監督・コーチ・主将を含め25名以内で編成し、スポーツ保険に必ず加入しているチーム。

6. 参加費

1チーム 10,000円

7. 登録費

1チーム 10,000円（登録年間）
3,000円（シニア）

8. 参加方法

所定の参加申込書に必要事項を記入の上、代表者会議に参加申込書、参加料、登録費を持参してください。

なお、大会参加申込書が欲しい方は、前橋市ソフトボール協会ホームページよりダウンロードしてください。

<http://www.geocities.jp/maebashisoft/index.html>

9. 代表者会議

日 時 : 平成30年3月24日（土）午後7:00から

場 所 : 前橋市日吉町二丁目17-10 前橋総合福祉会館 第3会議室

10. 問合せ先

前橋市ソフトボール協会

事務局 高 橋 良

〒379-2154 前橋市天川大島町1316-11

TEL 090-1551-1512

E-mail maebashisoft@yahoo.co.jp

平成30年度前橋市春季ソフトボール大会申合せ事項【1部、2部、シニア、女子共通】

1. 開会式

- (1) 平成30年4月8日(日)午前8時15分から前橋市桃の木川グラウンド(A面)で実施する。
- (2) 選手宣誓は、1部で抽選会①番のチームが行うこととする。
- (3) 開会式には、1部及びシニアの参加チームは選手全員が出席することとし、2部及び女子の参加チームについては、必ず代表者1名が出席することとする。

2. 会場準備及び片付け

- (1) 会場準備は、大会当日の第1試合を実施するチームは、各球場主任(審判員)の指示により午前7時30分より会場準備(バックネット、外野フェンス設置等)を参加チームが全員で協力して行うこととする。
- (2) 片付け 大会当日の各コート最終試合となるチームは、各球場主任(審判員)の指示により(バックネット、外野フェンス撤去等)を参加チームが全員で協力して行うこととする。
- (3) 各チームから出たごみ(タバコの吸い殻、弁当の空箱、缶・ビンなど)は、必ず持ち帰り処分すること。なお、各チーム代表者については、試合終了後ベンチ周辺のゴミ及び忘れ物等確認し、対応することとする。

3. 予選リーグ戦(各チーム2試合)

1部・2部は、参加チームを2ブロックに分けて予選リーグ戦を実施し、各ブロック1位と2位チームが決勝トーナメントへ進出する。

※予選リーグの順位付け及び決勝トーナメントへの出場チームは、次のとおり決定する。(勝敗、得失点などによる順位付け ① → ② → ③ → ④ の順とする)

①勝敗 ②同一対戦の勝ちチーム ③得失点 ④代表者による抽選

4. 決勝トーナメント及びリーグ戦

- (1) 1部・2部は、各ブロック1位と2位チームによる決勝トーナメントを実施する。
- (2) シニアは、4チームによる総当りでリーグ戦を実施する。
- (3) 女子は、予選リーグ戦無し、決勝リーグ戦のみを実施し、順位を決定する。(各チーム2試合)

5. 1部、2部の入れ替え

平成30年度の春季、夏季、秋季大会の3大会の成績により1部最下位チームと2部第1位チームが平成31年度から1部・2部が入れ替えとなる。

6. 県大会の参加条件

- (1) 1部上位チームは、第43回群馬県ソフトボール選手権大会兼上毛新聞社杯争奪ソフトボール大会へ前橋市代表として出場する。(抽選会9月15日:使用球は、ナイガイ)
日 程: 9月30日(日)・10月14日(日)
会 場: 明和町利根川総合運動場 ※参加チーム数は未定。
- (2) 女子上位チームは、第43回群馬県ソフトボール選手権大会兼上毛新聞社杯争奪ソフトボール大会へ前橋市代表として出場する。(抽選会9月15日:使用球は、ケンコー)
日 程: 9月30日(日)・10月14日(日)
会 場: 高崎市流通グラウンド ※参加チーム数は未定。

競技細則

1. 試合開始予定時刻30分前又は、前の試合の4回終了時まで各球場に集合し、オーダー表（フルネームで4部）を控え審判員に提出のこと。（オーダー表に記入のない選手は出場出来ない。）ただし、前の試合チームは、試合終了後、速やかに提出のこと。
2. 監督・コーチ・選手は、統一したユニホームを着用し、ユニホームナンバーは登録ナンバーとする。ユニホームナンバーは、監督30番、コーチ31、32番、主将10番とし、選手は1から99番までとする。
3. ベンチは、組合せ番号の若いチームを1塁側とし、ベンチに入れる者は、登録者のみとする。
4. フィールディングは、後攻チームより5分間とし、審判の指示に従う。ただし、競技運営の関係で短縮することもある。
5. 規格以外の用具及び審判員が危険と判断した用具については、試合終了まで大会本部にて預かる。
6. 試合における抗議は、監督又は監督不在時は監督代行者のみとする。アピールプレイ以外は、原則として抗議は受けない。また、競技上のマナー違反（暴言等）は、厳しく対処する。
7. 試合は2018年オフィシャルソフトボールルールを準拠する。ただし、次の大会規定による。（すべての試合に適用）
 - (1) 得点差コールドゲーム
5回以降7点差
 - (2) 時間コールドゲーム
試合時間は80分。時間を超えてからは、新しいイニングには入らない。時間を過ぎて同点の場合は、次のとおりとする。
 - ①予選リーグは引き分け。
 - ②決勝トーナメントは、即タイブレーカ（2イニングまで）を採用し、タイブレークでも勝敗が付かなかった場合は、各チーム最終出場者9人による抽選とする。
8. 注意事項及び確認事項
 - (1) 危険防止のため打者・打者走者・走者・次打者は、ヘルメット（両耳用）を必ず着用すること。また、捕手は、ヘルメット・スロートガード付マスク・レガース及びボディプロテクターを必ず着用すること。
 - (2) 球場内は、禁煙とする。
 - (3) スポーツ障害保険等に必ず加入のこと。試合中における傷害及び物損等については、自己責任とし、各チームですべて対処すること。
 - (4) 試合終了後、勝利チームは、直ちにグラウンド整備を行うこと。
 - (5) 荒天の場合は、試合当日の午前7時に決定するので、午前7時以降に各チーム代表者は、事務局へ電話にて必ず確認をすること。 事務局 TEL090-1551-1512
 - (6) 予選通過の確認は、試合終了後に大会本部で結果を集計するため、後日、各チームの代表者は、必ず前橋市ソフトボール協会のホームページで確認すること。
9. 日曜当番医問い合わせ先
前橋市消防局 TEL027-221-0099

JSA 2018年改正 オフィシャルソフトボールルールの改正点

17年10月、4年に1度の国際ルールの改正があり、特に重要と思われる国際ルールの改正点を踏まえ、競技規則の改正が行われた。

(1) ストライクゾーン

要 点	従前	2018年から
定 義	打者が打撃しようとするときの脇の下と膝頭の上部の間の、本塁の上方空間。	打者が自然に構えたとき（スイングする前）の「みぞおち」（上限）と「膝の皿の底部」（下限）の間の本塁の上方空間。
高 低	球の最上部（トップ）が上限に接するか、それより下を通過すればストライク。また、球の最下部（底部）が下限に接するか、それより上を通過すればストライク。	(注1) 球の最上部（トップ）が上限に接するか、それより下を通過すればストライク。また、球の最下部（底部）が下限に接するか、それより上を通過すればストライク。
内外角	ホームプレートを上から見た状態で、球がホームプレート上にかかっていたらストライク。	(注2) ホームプレートを上から見た状態で、ホームプレートに球が接すれば（球がホームプレート上にかかっていたら）ストライク。
5角柱	ホームプレート上に想定される空間を球が（完全に）通過しなければボール。	(注3) ホームプレート上に想定される5角柱の空間のどこかを球が通過すればストライク。 (寛え) 例えば、ボールエリアからの球が、落下のときに、或いはライズしたときに、ホームプレート想定空間内を球の全部が通過すれば、ストライク。

(2) 投球の準備等と不正投球

要 点	従前	2018年から
投手板を踏むとき (R6-1項3)	投手板を踏むときは、必ず両手を離して両足を投手板に触れなければならない。	投手板を踏むときは、必ず両手を離して、軸足を投手板に触れおかなければならない。 (注) 両足を投手板に触れておくか、軸足を投手板に触れながら自由足を後方（投手板の両端の延長線内）に置くことができる。
不正投球 (R6-1項5)	投球動作に入るときは、身体の前または横で球を両手で持ち、2秒以上、5秒以内身体を完全に停止しなければならない。	投球動作に入るときは、身体の前または横で球を両手で持ち、両足を投手板に触れている状態、もしくは軸足を投手板に触れながら自由足を後方に置いた状態で、2秒以上、5秒以内身体を完全に停止しなければならない。 (注) 完全停止後、自由足を投手板から後方に引いたり、あらかじめ後方に置いていた自由足をさらに後方に引いた場合は不正投球となる。
塁への送球 (R6-7項2 (3) 注)	投手が投手板を外すときは、両手を離す前に、両足を投手板の後方に外さなければならない。	投手が投手板を外すときは、両手を離す前に、足を投手板の後方に外さなければならない。
打者ア (R7-6項10)	セット後、打者が反対側の打席へ移動するとき。	打者が投手の軸足が投手板に触れたのち、反対側の打席に移ったとき。

(3) 試合のスピードアップ（ルールブック明記済みの「注意喚起から完全実施」へ）

攻撃側チームのメンバーが故意にラインを消した場合（R7-3項3効果3）、及び投球間にサイン確認や素振をすとき打者席内に片足を置いていなかった場合（R7-3項4効果4）ワンストライクのペナルティーを科す。

※1 打者が荒れた打席の高低・凹凸をなくして平らにする（均す）際は、ペナルティーを取ってはならない。

※2 打者がなかなかバッターボックスに入らない場合、先ず、入ってくださいと促し、なお入らない場合にペナルティーを適用。

(1) ボールデッドとコール・ジェスチャー。（捕手が球を持っている状態を想定。まず、ボールデッドの処置）

(2) 打者に「ペナルティーワンストライク指差・宣告する。

(3) 第三ストライク後に故意にラインを消した場合は次打者に、第三アウト後は次回第一打者に、「ペナルティー・ワンストライク」を課す

※3 「場内」放送があれば場内に、無ければ「当該監督に」ペナルティー・ワンストライクを取ることと告げる。プレイ再開では、当該打者にワンストライクから始まることをサイン表示する（記録委員会合意事項）。